

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 学習室「らっこ」実行委員会
2 事業の名称	神楽地区子どもの居場所づくり事業
3 実施期間	令和 7 年 4 月 5 日から令和 8 年 3 月 2 8 日まで
4 事業内容	<p>● 神楽公民館における「学習支援（学習室の開設）」（※神楽公民館との共催事業）</p> <p>神楽まち協委員、地域協力者などのボランティアが見守る中、宿題やドリル等の持込みによる「学習室」を開設し、大学生等が教師役を務め支援を行った。</p> <p>1 開設期間 令和 7 年 4 月 5 日～令和 8 年 3 月 2 8 日 毎週土曜日（休館日等を除く） 9：30～11：30 合計 49 回開設（予定）</p> <p>2 開設場所 神楽公民館「交流室」「第 3 学習室」（神楽 3 条 6 丁目）</p> <p>3 対象・参加費 小中学生（高校生も可）・無料</p> <p>4 参加者数 小中高生延べ 300 人、教師役延べ 81 人、見守り延べ 93 人 合計延べ 474 人 （※ 47 回（3 月 14 日開催回）終了時点）</p>
5 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>今年度も多くの子どもたちが参加し、学習支援を通して一定の成果を収めたが、勉強だけではなく、かるたなども実施したことで、子ども同士のコミュニケーションを図る場としても成果を収めることができた。</p> <p>教師役については、旭川医科大学の看護学科学生や地域の元教師など 30 名が参加しており、地域住民や教育機関との連携は維持できている。</p> <p>また、過去に学習支援に参加していた子どもが大学生となり、夏休みを利用してボランティアで教師として小学生を指導するなど、当初事業が目指していた形が実現され、学習支援の枠を越え、ボランティア精神を育む場としても地域や子どもたちの成長に寄与することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>他の既存組織との更なる連携など、より多くの協力者を巻き込み、将来的には地域による自主運営が可能な体制を整えていく必要がある。</p> <p>また、このような取組を必要としている子どもたちへの周知方法の検討や、教師役として大きな役割を果たしている旭川医大看護学科との協力関係を維持・発展させていくことなどが必要である。</p>